

令和3年8月31日
担当 石川県土木部都市計画課
川畑
内線 5210 外線 225-1758

「中核都市における新・交通システム研究会」 令和3年度提案活動の実施について

本研究会は、新しい交通システムの導入に向けた研究活動や現行制度の改善策を検討し、中核都市における新しい交通システムの導入促進を図ることを目的に活動しており、国土交通省の関係部局に対し、現行制度の改善を求める提案書の提出を行う。

記

1 日 時

令和3年9月2日（木）14:00～

2 要望先

国土交通省 都市局 荒川街路交通施設課長

3 要望団体

中核都市における新・交通システム研究会（会長 山野金沢市長）

4 要望場所（WEB要望）

金沢市役所本庁舎 405会議室（金沢市長）

県庁 1110会議室（事務局）

5 その他

当日、取材に来られる場合は、9月1日12時までに上記担当へご連絡いただきますようお願いいたします。

会 員 名 簿

(令和3年7月現在)

地方公共団体名	代 表 名	連 絡 先
栃木県	県土整備部長 田城 均	〒320-8501 宇都宮市鳩田1-1-20 県土整備部交通政策課 TEL(028)623-2522 FAX(028)623-2399
宇都宮市	市 長 佐藤 栄一	〒320-8540 宇都宮市旭1-1-5 建設部LRT企画課 TEL(028)632-2305 FAX(028)639-0614
新潟市	市 長 中原 八一	〒951-8554 新潟市中央区古町通7番町1010番地 都市政策部都市交通政策課 TEL(025)226-2753 FAX(025)229-5150
富山市	市 長 藤井 裕久	〒930-8510 富山市新桜町7-38 活力都市創造部交通政策課 TEL(076)443-2192 FAX(076)443-2190
石川県	土木部長 城ヶ崎正人	〒920-8580 金沢市鞍月1-1 土木部都市計画課 TEL(076)225-1758 FAX(076)225-1760
金沢市	市 長 山野 之義	〒920-8577 金沢市広坂1-1-1 都市政策局交通政策課 TEL(076)220-2038 FAX(076)220-2048
姫路市	市 長 清元 秀泰	〒670-8501 姫路市安田4-1 都市局交通計画室 TEL(079)221-2860 FAX(079)221-2557
岡山市	市 長 大森 雅夫	〒700-8544 岡山市北区大供1-1-1 都市整備局都市・交通部交通政策課 TEL(086)803-1374 FAX(086)234-0435
高松市	市 長 大西 秀人	〒760-8571 高松市番町1-8-15 都市整備局交通政策課 TEL(087)839-2138 FAX(087)839-2491

会員：9団体（2県7市）

連絡先：石川県土木部都市計画課 TEL (076) 225-1758 / 金沢市都市政策局交通政策課 TEL (076) 220-2038

中核都市における 研究会 新・交通システム研究会 2021



表紙：ツインクル（新潟市）

令和3年7月作成

ごあいさつ



中核都市における
新・交通システム研究会 会長
(金沢市長)

山野 之義

少子高齢・人口減少社会において、生活に必要なサービス機能を維持・向上するためには、住民の意向を踏まえつつ、それぞれの地域内において各サービス機能をコンパクトに集約し拠点化すると同時に、高齢者をはじめとする誰もが安心して生活できる持続可能な公共交通ネットワークの形成が求められます。

また、政府が目指す「2050年カーボンニュートラル」の実現のため、MaaSなどの次世代交通サービスを活用し、自家用車に過度に依存しない社会の構築を目指し、より一層、公共交通への利用転換を図る必要があります。

公共交通を取り巻く現状は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、利用者数が未だ以前の状況まで回復せず、大変厳しい状況が続いておりますが、転換を図る機会と捉え、既存の公共交通事業者等と連携し、持続可能な公共交通ネットワークの形成実現に向け、積極的に取り組んでいかなければなりません。

本研究会の発足以来、新しい交通システム等に関する国の補助制度が拡充され、全国の都市で導入計画や実際に導入される動きが見られるのは、たゆみなく研究・提言を続けてきた本研究会の成果であると言えるのではないのでしょうか。

今後も、本研究会の活動を通して、本研究会会員都市をはじめとするそれぞれの自治体と連携し、新しい交通システムの導入がさらに促進される環境づくりに努めてまいりたいと考えております。そのためにも、国土交通省をはじめ関係各位のより一層のご指導とご支援を賜りますようお願いいたします。

研究会の目的及び活動内容

中核都市においては、少子・高齢化、中心市街地の空洞化等の問題も相俟って、既成市街地の再生・再構築など、地域の特性を生かしたコンパクトなまちづくりが喫緊の課題となっております。

今後、中核都市が発展していくためには、都市交通問題の解決や都市機能の強化が必要であり、将来の総合都市交通体系の形成とまちづくりの形成を図るためには、新しい交通システムの導入が不可欠です。そこで、新しい交通システムの導入に対し共通の認識をもつ県及び中核都市を中心として、平成7年8月3日に「中核都市における新・交通システム研究会」が設立しました。

本研究会では、現実化に向けた研究活動や現行制度の改善策を検討し、中核都市における新しい交通システムの導入促進を図るため、次の活動を行います。

- (1) 新しい交通システムについての調査、研究及び企画の立案
- (2) 中核都市における新しい交通システムについての情報交換
- (3) 中核都市における新しい交通システム導入促進のための陳情、要望活動
- (4) その他研究会の目的を達成するための必要な活動

研究会の軌跡(過去5年間)

年度	研究会	開催地	講演者	演題
平成27年	第42回	東京都千代田区	東京大学 工学系研究科 社会基盤学専攻 教授 加藤 浩徳	都市交通システムにおける連携の大切さ
	第43回	新潟県新潟市	日本大学 理工学部 准教授 大沢 昌玄	都市と交通の相互連携再考 -新たなライフスタイルを提案する都市交通の計画と思想-
平成28年	第44回	東京都千代田区	福島大学 教育研究院 准教授 吉田 樹	「コンパクトネットワーク」に求められる地域交通戦略
	第45回	福井県福井市	福井大学大学院 工学研究科 建築建設工学専攻 教授 川上 洋司	都市再生のための交通まちづくり ～福井なりのLRT化への途～
平成29年	第46回	東京都千代田区	筑波大学大学院 システム情報工学研究科 リスク工学専攻 准教授 谷口 綾子	モビリティ・マネジメントの概要とポイント
	第47回	香川県高松市	大阪大学大学院 工学研究科 地球総合工学専攻 教授 土井 健司	Society5.0に向けた都市と交通のコ・デザイン ～経済・環境効率から社会効率の追求へ～
平成30年	第48回	東京都千代田区	横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 教授 中村 文彦	地方都市の公共交通とまちづくり
	第49回	福岡県福岡市	福岡大学工学部社会デザイン工学科 教授 辰巳 浩	少子高齢社会を支える公共交通
令和元年	第50回	東京都千代田区	日本大学特任教授・筑波大学名誉教授 石田 東生	MaaS・スマートモビリティとまちづくり
	第51回	富山県富山市	富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科 教授 中川 大	新しい都市交通政策 世界の流れに遅れないように

令和2年度活動内容

- ・令和2年度総会(書面表決)
- ・国への提案書の提出

令和3年度スケジュール

7月 総会(書面表決)

11月 第52回研究会

■設立

平成7年
8月3日

■研究会役員

会長 金沢市長
監事 富山市
事務局 石川県

■加入団体

2県7市